

漱石のほほえみ



桂 三四郎



エグスプロージョン



房野文典
(ブロードキャスト!!)



ピクニック



しずる



あべこうじ



藤本淳史
(田畑藤本)



チャド・マレーン



広岡 祐



平成28年度
新宿区夏目漱石コンクール
優秀作品表彰式
審査講評:森 まゆみ(作家)

舞台とシンポジウム「漱石のほほえみ」

出演: エグスプロージョン、桂三四郎、チャドマレーン
ピクニック、房野文典(ブロードキャスト!!)、
しずる、藤本淳史(田畑藤本)

MC: あべこうじ
解説: 広岡祐

※出演者は都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

平成28年

12月11日 日

14:00開演(13:15開場)

早稲田大学大隈記念講堂 大講堂

(新宿区戸塚町 1-104)

主催



共催

朝日新聞社 早稲田大学

▶新宿区公式 HP <http://www.city.shinjuku.lg.jp/>

▶記念館 HP <http://soseki-museum.jp/>

2017年夏目漱石生誕150周年に向けて
新宿区夏目漱石記念施設整備プロジェクト Vol.7

「漱石のほほえみ」の開催にあたって



夏目漱石記念施設整備プロジェクト Vol.7～漱石のほほえみ～にご来場いただき、誠にありがとうございます。

新宿区は、新宿ゆかりの文豪・夏目漱石が晩年の9年間を過ごし、数々の名作を世に送り出した新宿区早稲田南町7番地の「漱石山房」跡地に、漱石生誕150周年にあたる平成29年9月の開館に向けて、新宿区立漱石山房記念館の整備を進めています。

記念館の整備にあたり、全国の皆さまのご支援をいただきたいと考え、平成25年7月より「夏目漱石記念施設整備基金」への寄付の受付を開始いたしました。これまでに多くの皆さまからご厚志をお寄せいただき、心より御礼申し上げます。開館に向けて、引き続き皆さまの温かいご支援・ご協力をお願い申し上げます。

本日の第1部では「平成28年度新宿区夏目漱石コンクール」で優秀作品に選ばれた皆さんに表彰状を授与するとともに、審査委員長である作家・森まゆみさんに審査講評をしていただきます。そして第2部では、舞台とシンポジウム「漱石のほほえみ」と題し、ダンスパフォーマンスや落語、漱石をめぐる文芸好き芸人によるシンポジウム等が行われます。

本日は、最後までごゆっくりお楽しみいただき、現代でも色褪せることのない漱石の世界観や魅力に思いを馳せていただければ幸いです。

新宿区長 吉住 健一

- ◆共催者挨拶 早稲田大学 文化推進部副部長 石見 清裕
- ◆来賓者挨拶 新宿区議会議長 下村 治生

第1部 平成28年度 新宿区夏目漱石コンクール 優秀作品表彰式



絵画

「猫になって描いてみよう

～わがはいはネコである～」(小学生対象)

読書感想文

「わたしの漱石、わたしの一行」(中高生対象)

全国から応募された作品から優秀作品を紹介し表彰します。

講評

審査委員長 森まゆみ (作家)

昭和29年(1954)東京都文京区生まれ。早稲田大学政経学部卒。出版社編集者を経て、昭和59年に地域雑誌「谷中・根津・千駄木」を創刊し、その後の谷根千ブームのきっかけを作った。著書に『鴉外の坂』『青鞥』の冒険一女が集まって雑誌をつくるということ』など。



舞台とシンポジウム「漱石のほほえみ」



1 ダンスパフォーマンス

出演 エグスプロージョン



「本能寺の変」などの“踊る授業シリーズ”の動画配信で世界中にその名を広めた元祖エンタメダンスユニット。毎年ライブツアーを行うストリートダンサーでは異色の存在でありながら、森山直太朗等のアーティストや芸人への振り付け・ダンス講師をはじめ、役者としての芝居出演、イベントMC、小中学校でのダンス講師もこなす。

2 落語

出演 桂三四郎



平成 16 年 (2004) 桂三枝 (現六代目桂文枝) 一門に入門。古典から師匠譲りの創作落語まで、幅広いジャンルの上の方落語と甘いルックスを武器に活躍中。主な出演番組には MBS ラジオ「MBS ヤングタウン日曜日」がある。

3 シンポジウム 出演 チャド・マレーン、ピクニック、房野文典 (ブロードキャスト!!)、しずる、藤本淳史 (田畑藤本)

MC あべこうじ

解説 広岡祐 (「漱石と歩く、明治の東京」著者)

あべこうじ



NSC 東京校 2 期生。俳優業、作詞家でもある。趣味はドリンクバー制覇。平成 22 年 (2010) 年の R-1 グランプリで、6 度目の決勝進出を果たし、王者に輝く。高い MC 能力を活かして、活躍の幅を広げている。

チャド・マレーン



同名の漫才コンビとしても活躍するオーストラリア出身のお笑い芸人。海外出身でありながら流暢な関西弁を操り、舞台・TV・ラジオを中心に活躍中。お笑い芸人としてのスキルと語学力を活かした映像作品の翻訳にも活動の場を広げている。

ピクニック



NSC 東京校 6 期生。趣味は剣道。特技は人より手が開くこと。ネットラジオ番組「ピクニックとシューレスジョーの『ぬくもり横丁』」のメインパーソナリティ。

房野文典 (ブロードキャスト!!)



平成 13 年 (2001) に吉村憲二とブロードキャスト!! を結成。歴史好きの房野は『笑って泣いてドラマチックに学ぶ 超現代語訳・戦国時代』を今年出版したばかり。応仁の乱から真田丸までの裏話や面白エピソードを分かりやすい言葉で解説。

しずる



池田一真と村上純のコンビで、結成は平成 15 年 (2003)。「キングオブコント 2016」では 3 度目の決勝に進出した。村上は文才に恵まれ、短編小説集『青春箱』を平成 26 年に出している。コンビの著作としては『しずかにながる』がある。

藤本淳史 (田畑藤本)



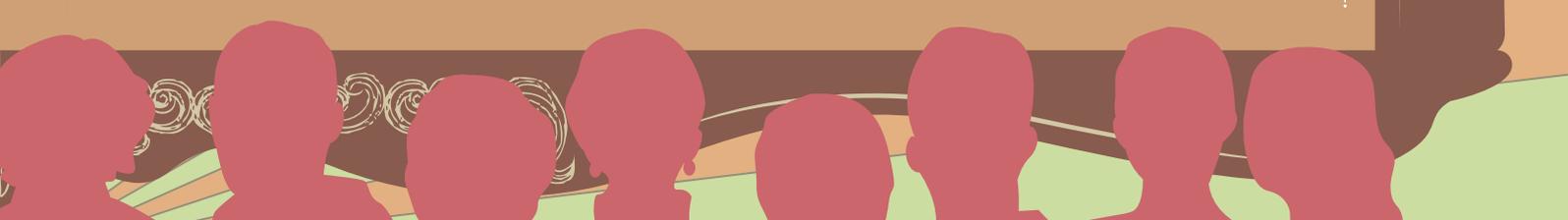
平成 20 年 (2008) に田畑祐一と田畑藤本を結成。同年「今宮こどもえびずまんザイ新人コンクール」で新人漫才奨励賞を受賞。藤本は東京大学工学部出身の高学歴芸人として名をはせる。漱石も教鞭をとった東大本郷キャンパスは庭のようなもの。

広岡 祐



1966 年東京生まれ。明治大学文学部史学地理学科卒業。都内の高校で社会科講師を務めながら、国内外の歴史的建造物や産業遺産・戦跡などを探訪、近現代史と建築文化の研究を続けている。著書に『たてもの野外博物館探見』(JTB キャンプックス)、『漱石と歩く、明治の東京』(祥伝社黄金文庫) など。近刊に編集委員として参加した『浅草文芸ハンドブック』(勉誠出版) がある。

撮影: GEOFF JOHNSON



漱石は笑わない？

漱石の顔をイメージする時、多くの人は立肘をつけて静かに考えごとをしているような姿を思い描くのではないか。そうでないにしても、笑顔のイメージはあまりないだろう。『ニコニコ』（大正四二（一九一五）年一月）という雑誌に掲載された笑顔の写真が一枚だけあるが、『硝子戸の中』の記述によれば、この写真も後から加工を施したものとされている。代表作である『こころ』のイメージなども手伝って、漱石を生真面目で少し近づき難い人物だったと考える人は少なくない。

確かにそうした一面は間違いだとは言えない。『ニコニコ』掲載写真の撮影時、笑顔を作るように再三頼まれたにも関わらず、少しも笑おうとしなかったというエピソードなどは漱石に気難しい人物という印象をより強くする。

他方、身近な人々には意外にも（？）くだけた親しみやすい人物という一面を見せている。第五高等学校の教え子で、付き合いの長い野間真綱とのやり取りはいつもユーモアにあふれていた。例えば、野間と同じく五高の教え子だった橋口貢の家招かれて初めて雁を食べた感想を書き送った手紙には、「頗る甘ひ 雁の糞は橋口の家に限る」などと落語「目黒のさんま」のようなことを言っておどけて見せている様子がうかがわれる。また、何か美味しい食材などを手に入れると、御馳走するから遊びに来いとしきりに催促し、『倫敦塔』に対する好意的な感想を受け取れば、「君がほめて呉れたので倫敦塔が急にうまくなった心持ちがする」などと、褒められた嬉しさを臆面もなく語っている。

ビジネス上の付き合いと親密な付き合いの間における漱石の二面性は、当時の人々にとってはややもすると相手によって態度を使い分ける裏表のある人間のように映っていたかも知れない。しかし、現代のわたしたちは漱石に関する様々な資料の中に、外では難しい顔をしていても、打ち解けた相手にはおどけてみたり、気軽な冗談を言ってみたりする、シャイな漱石の一面を認めることが出来るのではないだろうか。



（記念館イメージ）

ともに創ろう、「新宿区立漱石山房記念館」

漱石生誕 150 周年にあたる平成 29 年 9 月の開館に向け、記念館の整備を進めています。

漱石を発信する、活気とにぎわいのある記念館に
漱石文学とともに、ゆったりとした時を過ごせる記念館に



夏目漱石記念施設整備基金にご支援・ご協力をお願いします

新宿区では、記念館の整備に多くの方々のご参画をいただきたいと考え、「夏目漱石記念施設整備基金」を設置、平成25年7月から寄付の募集を開始し、約8,977万円（平成28年11月28日現在）のご寄付をいただいております。ご厚志をお寄せいただきました皆さまには心より御礼申し上げます。引き続き、皆さまの温かいご支援・ご協力をお願いいたします。基金への寄付方法など詳しいことは、新宿区文化観光課文化資源係まで。

「新宿区立漱石山房記念館」ホームページ （<http://soseki-museum.jp/>） を開設しました。

記念館の施設概要、イベント情報などを随時更新してまいります。どうぞご覧ください。



施設の概要

- 所在地 新宿区早稲田南町7番地
- 延床面積 1,276.14㎡
- 構造等 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
地上2階、地下1階

敷地内の区立漱石公園には、芭蕉・トクサ・桜など当時の植栽が再現され、四季を感じながらの散策が楽しめます。

- 記念館内に書斎・客間・ベランダ式回廊など「漱石山房」の一部を再現
- 常設展のほか、企画展や講座・イベントを開催し、漱石やその文学の世界を紹介
- 漱石に関する本を読みながら、ゆったりとした時を過ごせる図書室やカフェを設置



（1階導入展示イメージ）



（2階展示室イメージ）

問い合わせ先

新宿区文化観光産業部 文化観光課 文化資源係

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-5-1 電話 03(5273)4126 〈直通〉